

市民との意見交換会会議録（本宮第1中学校区）

報告日及び報告者 H28.2.16 齋藤雅彦

1. 日時 平成28年1月27日（水）午後6時30分～午後8時40分
2. 場所 えぽか(中会議室)
3. 出席議員
国分勝広 作田 博 川名正勝 山本 勤
円谷長作 後藤省一 三瓶裕司 齋藤雅彦 （8名）
4. 出席市民 24名
5. 会議経過

【午後6時30分開会】

◇三瓶議員 開会宣言

◇作田議員 挨拶

今回は中学校区単位の3地区で実施をさせて頂いた。市民の皆さんと意見交換をして市政に反映していくのが目的。皆さんからざっくばらんに忌憚りの無い意見をいただければ有難い。平成27年6月に本宮市議会基本条例を作り、8月から施行されたことにより、皆さんの思いをうけ止めながら、どういった街づくりがベストなのか追求するためにも、是非とも意見をいただきたい。二代表制という執行者と決定権をもっている議会で市政が運営されている状況で、決定権のあるような発言は出来ないことも多々あるが、皆さんの意見を反映していく。

（その後、出席議員が各自氏名、所属常任委員会を自己紹介、事務局の自己紹介を行い報告に入る）

【報告】

◇円谷議員

別添資料、議会だより（年4回、定例会の翌月発行）及び第3回市民との意見交換会（会場で配布）により、平成26年度決算および平成27年度予算の状況、定例会、臨時会の審議の概要、政務活動費について報告を行う。

《質疑 要旨》

◇三瓶議員

報告に対して質疑のある方へはマイクを持っていくのでよろしく願いしたい。

【質疑】

問（市民）議会だより第38号(P11)の意見交換会の対応報告で、要望を市民部局へ伝えるもの（19項目）と議員で対応するもの（12項目）があるが、結果どのような反応があったのか。

答 円谷議員 それぞれの意見は議長を通して市長に伝えている。議会では全員協議会に

において市から意見が加味された内容で提案された案件に対して、実施出来るようなフォローはしている。みなさんから頂いた意見の結果については、例えば仮設住宅に住んでいる富岡町・浪江町の方が、本宮市に住宅を購入する際の固定資産税の減免措置など、市長部局から一つ一つの案件が

すべてではないが、実績として何点かあがってきている。

問（市民） 2回続けて同じテーマはゼロからの意見交換なのか、議会からの素案があつての意見交換になるのか、もっとつつこんだ意見交換会にしてほしい。

問（市民） 除染の費用は県や国に出してもらえないのか。自主防災において地区でして欲しいということ具体的に（早急に）出して欲しい。明確にってもらえれば協力できるため自主防災組織のあり方とかを指導してもらいたい。戸建てに住む被災者へ防災無線等の支援をして欲しい。

答 円谷議員 衛生費207億8千万円に含まれている除染費用191億は、国および県から交付されており、本宮市が(業者と)国に変わって契約している。なおホールボディカウンターや米の全量全袋検査等の放射能関係費用は別途。仮設住宅には防災無線機が足りなかった(当初設置を希望しなかったアパートの方や故障している方々からの要望が震災時に急増した)ため、モットコム放送用のラジオを提供した。防災無線も入っているはずで、一戸建てについても希望すれば防災無線機が入っているはずだが確認する。

答 作田議員 自主防災については、本来ならばきめ細やかな日常的にマニュアルを作つて、もっと市からお知らせしていく等、組織を強化していかなければならない。議会一般質問でも取り上げて、現在8区でモデル行政区としてやっているが、実際のきめ細やかな防災組織までは至っていないのが現状。本来ならば市の指導や消防団とか、地区のみなさんと相談しながら、地区の防災の見直しが必要だと思う。今後も市当局にも強化するようにすすめていく。

問（市民） 本宮駅周辺整備検討委員会から議会に、東西自由通路や地域交流センターの話は出ているのか。

答 作田議員 特別委員会を組織して審議している。委員長が山本議員、副委員長が川名正勝議員で特別委員会の中で審議している。

答 山本議員 12月22日締め切りのパブリックコメントで修正をして、1月21日の全員協議会で検討されている。1月23日完成の安達駅も見学に行く予定である。

答 円谷議員 特別委員会は議員改選のため平成27年6月に解散している。本宮駅周辺整備検討特別委員会を再度設置した内容については、議会だより第39号を参照していただきたい。

問（市民） こういう機会にはもっと細かいところまで情報提供して欲しい。東側でも西側でも人通りが出来る物がよいと思う。

答 国分議員 交流センター、駅、自由通路、駅舎はまだ決まったわけではない。あくまでも案である。案で3月議会に予算措置されれば、審議して決定するのは議会になる。

問（市民） 誤解しないで欲しいが反対しているわけではない。市の建物であつてみんなが利用できるものであれば一番よい。審議している細かい内容も教えて欲しい。

答 国分議員 作れば市民の税金で返すようになるわけで、市民の方に相談したりして、最終に決めるのは議会になる。

答 作田議員 12月2日から22日までパブリックコメントを募集した際、もっとわかりやすく規模や金額を提示して意見を頂いた方が良いと話がでた。

問（市民） 歳入についての質問だが法人税はあるのか。

答 円谷議員 平成27年度法人市民税予算は31億5千万円である。

問（市民） 法人税は企業の本社があることで成立すると思うが、工業団地がうまくいったということだが、議会が強く要望し今後も企業誘致による雇用の増加と人口の増加を図って欲しい。

危険箇所のような狭い道路の整備予定について、今後の実施状況を詳しく説明をして欲しい。五百川駅の看板設置や四号線農協前の看板(へそのまち本宮)のような見えない看板設置は、道路整備もままならないのに実際に本宮市のPRになるとは思わない。そういうものにお金をかけるのであれば、もっと道路をなんとかして欲しい。9区の百日川付近の道路は狭い。子どもたちはフェンスにつかまりながら通学している。もう何十年も言っている。二年か三年前に予算がついたという話があったが、いまだに直っていない。議員は現場を歩いて道路整備に力をいれて欲しい。

空き家については状況把握が必要だという回答だったが、現在どのくらいあるのか。老人憩の家の今後の予算化はどうなっていくのか。

排水ポンプ電源喪失はマニュアルがあるから大丈夫だという回答だったが、スイッチはだれが操作するのか等、市民にもっと教えてほしい。

防災訓練に参加しても、だれも何も持ってきていない状況で防災訓練になるのか。訓練のやり方が分からないので、担当者に説明をお願いして欲しい。人口が増えれば市税も増えて、サービスも良くなると思う。

答 作田議員 空き家については把握していない。通学路の館越・関根線、名郷橋の下については一部着手したが、いまだ未着工のところもある。12月の一般質問で取り上げたが、校庭もせまくなるので学校側と協議しながら進めるという回答があった。

老人憩の家は当初財政健全化計画のなかで6千万の予算だったが、いまの利用者数を考慮した場合に6千万では出来ない。老人会のみなさんと話しながら、一つの拠点になるような(建物)という話もあるため、それらを勘案して試算を出している。平成28年度に予算化にはなると思う。

答 三瓶議員 空き家対策で調査の予算化(補正)はしているが、数についてはまだわかっていない。

【意見交換】定住人口増加への取り組みについて

問（市民） 民生委員が一人暮らしの状況や死亡時の連絡先について把握していない。民生委員活動が機能していないのではないか。対策をしてほしい。

駅を出ると駐車場ばかり。駅の活性化の取り組みをして欲しい。駅を建て替える場合にエレベータ等バリアフリーの対応をお願いしたい。学力を向上させたりスポーツに力を入れて欲しい。商工業対策をして欲しい。後継者がいないため支援・施策が必要。農業対策については、ブランド品をつくるとかふるさと納税（大玉村は3千万円）の金額を上げることに力をいれる等のサポートをして欲しい。県・国の施設（病院、保健所等）の誘致が必要だと思う。

問（市民） 現在民生委員は本宮方部52名で毎月定例会を実施している。民生委員一人当たり20名程の(一人暮らし)高齢者を抱えている。月最低2回は回っているが民生委員だけではとても回りきれない。昨年市から福祉計画が出され、社会福祉協議会でネットワークを作っているのは117行政区の内7ヵ所だけで連携を密にできていない。行政区長さんとタイアップして地域ネットワークを築いて行きたい。(2事例)どうしても地域のみなさんの協力がないと(民生委員の)なり手がいない。今後も地域の皆さんの支援を頂きたい。

問（市民） 基本的に自分のことは自分でやる。駅東口がさびれたからではなく商店経営者が努力し自分たちで考えることが必要。そこに金を注ぎこんでも予算の無駄遣いになる。空き家対策は予算を組んで業者がやるのでは時間や無駄なコストがかかり時代遅れで市の職員がプロジェクトを組んでやるべき。

通学路の整備についても予算をつけてからやるというのは、時間がかかりすぎる。待機所も2ヶ所作ってもらっても足りない場合は、時間とお金をかけないで、時間帯で交通規制をするというような柔軟な発想をして欲しい。

農業者へはテレビや雑誌で取り上げられるような特産物を作るような、市で期限をつけて予算的支援するとか、飲食店に予算をつけて名物を作るようなプロジェクトを作る提案をして欲しい。個々の農家や商店が自分たちで頑張る意識をもつように、それをバックアップ(応援)するような発想をして欲しい。また市職員も頑張れる組織作りをして欲しい。

問（市民） 人口減少を食い止めるには住宅を作るのが一番だと思う。都市計画の中に第1種住宅指定地域のなかの低層地域は、住宅を作るには建ぺい率がかなり厳しく「住宅をつくるのは難しい」と業者から聞いた。住宅を建てるには建ぺい率が40～60%では難いため、建ぺい率を見直して欲しい。

問（市民） 本宮周辺で働いている人に住んでもらう対策と、住んでいる子どもが流出しないようにする対策が考えられるが、本宮市は子育てしやすい地域、病院も多い、公園も整備され、歯医者や小児科医院も多い、学校も近い、塾も多い等の利便性をもっとPRして欲しい。定住できるかどうかは仕事があるかないかで、将来子どもに住んでもらうためには企業誘致の施策をして、正社員として雇用されるようにして欲しい。

問（市民） 交流人口を増やすことが、定住人口を増やすことにつながる。

交流人口が増えている「平田村」のような取り組みや発想の転換が必要。

(芝桜15年計画、紫陽花・ゆりを植え1年を通して交流人口を増やす取組)

【意見交換】 これからの地域のあり方・活性化について

問（市民） 堤防拡張および道路拡張により立ち退きで行政区が小さくなっているため、行政区自体がなりたたなくなっている。行政区の再編成を検討して欲しい。

問（市民） 地域の行事に参加しない人が増えているなど地域にまとまりがなくなっている。人と人とのつながりが求められてきている。大人を含めた挨拶運動等の地域交流を強化するため、区長さんの指導をして欲しい。

問（市民） 自主防災組織が25年度は17あったと思うが、町内会長さんも持ち回りになっているため、自主防災組織の相談員を置いて(手当等を支給して)、防災組織や地

域ネットワークを作るなどの町内会の活性化をしてほしい。

問（市民） 優秀な人材が市に戻ってこない。意見を聞く場が欲しい。高校、大学の人たちをあつめて「戻らない理由」について話し合いをしてもらいたい。議員はばらばらな考えではなく、まとまってやってもらいたい。

【意見交換】 その他

問（市民） 1月広報によると3年前から人口が0.7%減っている。

①企業誘致で職場の確保 ②定住化の為のインフラの確保(具体的にどうする) ③利便性の確保(駅を中心とした) ④ドーナツ化現象(プラント・エイトタウン) ⑤交流インフラの確保(桜を植える等)の取組が必要。

問（市民） 高木地区公民館の移転問題は怎么样了のか。

答 円谷議員 県の道路拡張事業が遅れているため、27年度実施予定だったがずれこんでいる。28年度どういう事業になるのか、市に確認して回答する。

問（市民） 定住人口については大きな問題なので、あと2・3回意見交換会を開催してほしい。

◇作田議員 挨拶

みなさんから良い意見を頂いた。重要な問題もあるので、頂いた意見を精査してみなさんにお知らせする。

【午後 8時40分閉会】